

1 学校教育目標	2 本年度の重点目標
<p>笑顔で 元気な 東っ子</p>	<p>① 「学び」の楽しさや喜びを味わわせ、学力の向上を目指す。 ② 感性を高め、思いやりに満ちた豊かな人間性を育成する。 ③ 基本的な生活習慣を身に付けた、心身共に健康で、たくましい児童を育成する。</p>

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む

3 目標・評価

① 「学び」の楽しさや喜びを味わわせ、学力の向上を目指す。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)
教育活動	●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 授業と家庭学習とのつながり 基礎基本の確実な定着 ICT利活用教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 学級の実態に応じた指導に力を入れ、指導法の工夫改善に努める。 学力検査等において、県平均を上回る。 学習規律を身につけさせ、スキルタイムの継続により、基礎学力の定着を目指す。 授業の中で積極的にICT機器を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語活動等の表現活動を学習に位置づける。 学習過程に「書く」活動を位置づけ、表現力の向上につなげる。 全学年に算数TTの時間を確保し、基礎基本の向上に努める。 家庭学習は「学年×10+10」分を目標にする。 電子黒板を積極的に活用できるように配置する。 	教務 研究主任
教育活動	○特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 個に応じた指導体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態及び保護者の願いを的確に捉え、個に応じた支援を実践する。(児童に関する情報連絡会月2回実施) 情報連携及び「行動連携」の充実深化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者面談や情報連絡会、校内支援委員会を通して、保護者との連携、また職員間での連携を図り、共通理解をして全職員で協力して支援を行う。 ケースに応じて、専門機関や医療機関等との連携を図る。 個別の教育支援計画を元に、きめ細かな指導とその記録を行う。 	特支学

② 感性を高め、思いやりに満ちた豊かな人間性を育成する。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)
	●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> 心の教育3点セットの活用 道徳教育、生徒指導、教育相談の充実 たてわり班活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの児童を大切に学級づくりを目指す。 学級経営や学校行事の中で、「心の教育3点セット」の活用を位置づける。 「ふれあい道徳」への保護者の参加率を80%以上に上げる。 たてわり班活動を通して、思いやりの心の育成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 「挨拶・返事・時間を守る」ことに取り組んでいく。また、規範意識や思いやりのある言動を指導し、身につけさせる。 童謡歌集や「伊万里っ子しぐさ」を活用し、児童の情操を高める。 「いのちの教育指導資料」を活用した授業を行う。 たてわり班遊びやたてわり班掃除を計画し、異学年交流を通じた思いやりの心の育成へとつなげる。 	道徳主任
	●いじめ・不登校への対応	<ul style="list-style-type: none"> いじめのない楽しく明るい人間関係の育成 高め合う学級風土の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> いじめのない学級づくりに努め、学級での生活に楽しさや充実を感じる児童を100%にする。 児童に関する情報交換会を計画的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の生活や心に関するアンテナを高くし、保護者との連携も図りながら「いじめ」の未然防止を図るとともに、早期発見・早期対応、再発防止に努める。 温かく思いやりのある学級集団づくりに努め、いじめなどが発生しない学級風土づくりを行う。 	生徒指導 教育相談

③ 基本的な生活習慣を身に付けた、心身共に健康で、たくましい児童を育成する。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)
	●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> 「歯と口の健康づくり」を通じた心身の健康意識の啓発と健康づくりの推進 食育の推進と充実 外遊びの奨励 	<ul style="list-style-type: none"> 「歯と口の健康」に関する指導を通して、児童自身の心身の健康に関する実践力を高める。 1日3回の歯みがきを実施している児童100%を目指す。 栄養教諭・養護教諭を中心に、「食育」に力を入れる。 中休み、昼休みの外遊びを奨励し、外で遊ぶ児童80%以上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じた「歯と口の健康」に関する指導を計画的に行う。 家庭の関心を高めるため、歯科医師による保護者向けの講演を実施する。 給食試食会や食育だより等を通し、保護者に食育に関する啓発を行う。 外での集団遊びを紹介し、実践へとつなげる。 	養護 栄養
	○特色ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 「東っ子育成プラン」の推進 「家話の日」の推進 ふるさと「やましろ」を思う気持ちの醸成 活気ある学級集団の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観・学校行事等において保護者・地域と連携を図る。 「家話の日」と「家話の日」を通して、家族のコミュニケーションの深まりを目指す。 地域学習の推進 様々な学級活動を通して、一人一人が認められる学級集団を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校便り、学級便り、HP等による学校の教育活動に関する情報を発信する。 「家話の日」や「家話の日」の前日に情報委員会の放送により、各家庭で取り組むように呼びかけたり、音読カードに読んだ本や話した内容を記入させたりする。 生活科や総合・社会科等で地域学習を取り上げ学習する。 一人一人が認められる場を積極的につくる。 	管理職
	○危機管理	<ul style="list-style-type: none"> 通学路の安全点検及び安全指導 食物アレルギー等への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域と連携し、通学路の安全把握と危険に対応する。 食物アレルギーに関する研修の実施及び保護者との連携を充実させる。 危険を予測したり、危機から身を守ったりする力を育成し、危機管理マニュアルに基づいた行動や対応ができる児童を100%にする。(交通・生活事故、災害等から身を守る力の育成) 自分や他の命を大切にすることを実践力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 通学路の安全点検を定期的に位置づけ、現状把握に努める。月1回の通学路点検並びに保護者や地域からの情報収集を行う。 親子登校を実施し、保護者の通学路に関する関心を高める。 交通安全教室や交通安全指導等を通し、自分の命を守る方法を具体的に教える。 保護者から情報を集め、アレルギーの有無や対応策を具体的に把握及び作成する。 「危機管理マニュアル」の内容把握の時間を定期的に設定する。 自他の健康や命を守る手立てについて、学年に応じ、具体的に指導する。(青少年赤十字制作DVDの活用) 	生徒指導 栄養

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目(あれば記入)

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)
学校運営	○保・小・中連携	<ul style="list-style-type: none"> 山代町内4保育園との連携 小中連絡協議会並びにPTA3校連絡会を通じた連携の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 確かな学力の定着をめざす。 豊かな心の育成をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> 山代町3校の共通理解を図り、小中9ヵ年の見通しを持ち立腰教育を実践していくことで、落ち着いた学習環境を作り、学力の定着を目指す。 楠久、久原、鳴石、さくら保育園との連携を図り、小1児童の授業参観や情報交換を行う。 	1・6担任 教務
	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> 校務処理の効率化 規範意識、モラルの高揚 	<ul style="list-style-type: none"> 校務分掌が誰になっても対応できるような文書管理をする。 明るい職員室づくりを目指し、美化や環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出文書の一元管理と紙媒体での保存をする。 明るい挨拶と笑顔、感謝の言葉が飛び交う職員室になるように働きかける。 	管理職

●は共通評価項目のうち必須項目、○は独自評価項目